

【現状と課題】

(1) 農家数の減少

全国的に農家数は、減少傾向にあり、本県での減少率はやや低いものの、今後、新たな担い手の確保が課題

農林業センサス・単位：戸、%

全 国			山 梨 県		
H22	H27	増減	H22	H27	増減
2,528,000	2,155,000	-14.7	36,805	32,543	-11.6

(2) 農家の高齢化（農業従事者等の平均年齢）

全国は66.4歳、本県は68.2歳で、全国より1.8歳高齢化が進行

(3) 経営耕地面積

販売農家一戸当たりの経営耕地面積は77aと狭小であるものの、10a当たりの生産性は高く、今後、更なる生産性の向上や規模拡大等による生産基盤の強化が必要

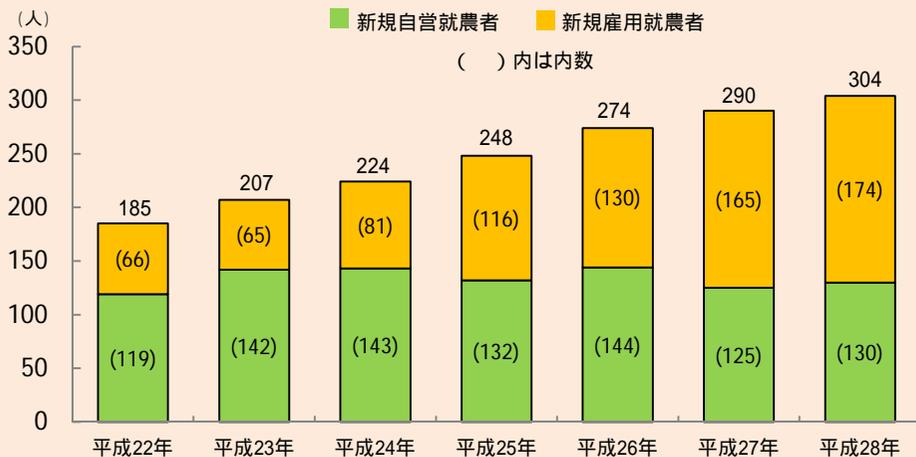
(4) 農業生産額

最盛期（S53年）は約1,300億円、ここ15年間は900億円前後で推移してきたが、H28は958億円となり回復の兆しが見られることから、県産農産物の更なるブランド化と新たな需要拡大等が必要

(5) 新規就農者

H28年の新規就農者数は、H22年に比べ、全国では10.2%の増加に対し、本県では64.3%と大きく上回り、特に雇用就農者の増加率が高い

本県の新規就農者数の推移



【対策】

確保

(1) 就農相談（就農支援センター事業）

就農希望者の相談窓口として、県就農支援センターを設置し、県内外での就農相談を実施

単位：件

	H26	H27	H28
相談件数	288	260	337

(2) 技術習得（就農定着支援制度推進事業等）

就農希望者に対し、アグリマスターが技術、経営等について長期研修を実施

単位：人

	H26	H27	H28
研修生等	217	223	210

農業大学校（本科・訓練科）、就農トレーニング塾設置事業を含む

(3) 経営開始支援（農業次世代人材投資資金交付事業）

就農希望者が県農業大学校等で研修を受ける際に年間150万円を支援（最長2年）

単位：人

	H26	H27	H28
交付対象者	64	44	23

醸造用ぶどうの担い手育成支援

醸造用ぶどう生産担い手育成事業

ワイン産地の醸造用ぶどう生産者を確保するため、醸造用ぶどう栽培セミナーを開催

単位：人

	H28	H29
参加者	30	20

醸造用ぶどうづくりチャレンジ事業

醸造用ぶどう栽培やワイン生産に参入しようとする方に、栽培と醸造の実践的な研修プログラムを開催

H29：30人×2地区

育成

(1) 経営安定支援（農業次世代人材投資資金交付事業）

新規就農者が就農後、経営安定に取り組む際に年間150万円を支援（最長5年）

単位：人

	H26	H27	H28
交付対象者	182	194	200

(2) 農家子弟支援（果樹王国やまなし就農支援事業）

農家子弟が経営規模拡大のために整備する農業機械等のリースに対して支援

単位：人

	H28	H29見込
対象者	8	21

(3) その他

- ・農援隊による高度な技術指導
- ・農業青年実践能力向上研修
- ・農業経営研修、農業機械研修
- ・果樹経営支援対策事業
- ・農業経営承継事業 他



数値目標（ダイナミックやまなし総合計画 他）

項目	H26（基準）	H31（目標）	H28（実績）
年間新規就農者数	274	340	304